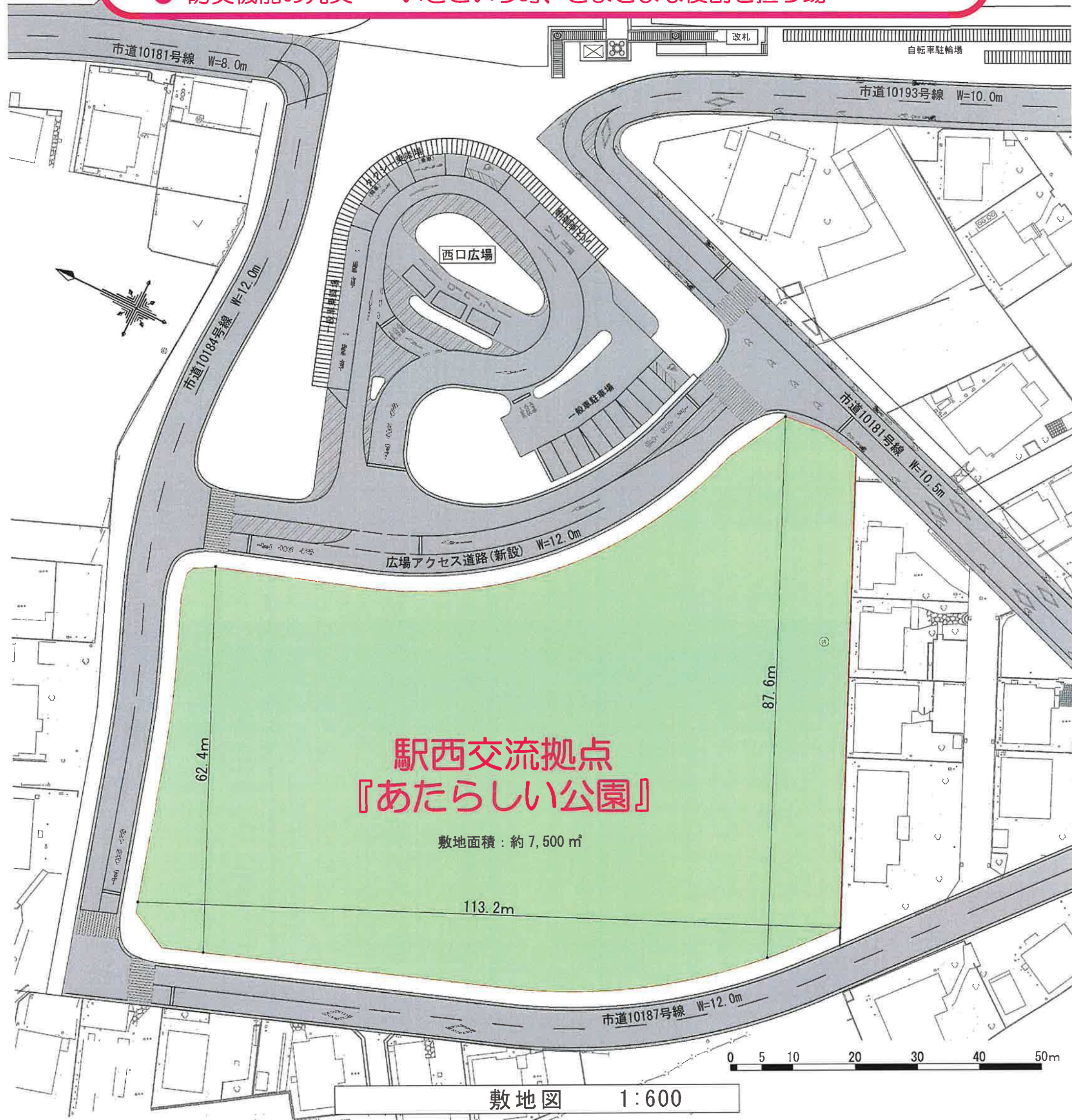


# 常陸大宮駅西交流拠点基本計画について

～常陸大宮駅の周辺が新しく生まれ変わります～

「女性と子ども達に目を向けた交流拠点」を目的に、駅前という立地を活かし、まちの新たな魅力づくりとして、次の3つのコンセプトのもとに、「あたらしい公園」の基本計画を策定します。

- にぎわいの創出 ～みんなが集まる、子育て支援や多世代交流の場～
- インクルーシブパークの整備 ～誰もが一緒に楽しく過ごせる場～
- 防災機能の充実 ～いざという時、さまざまな役割を担う場～



● **にぎわいの創出 ～みんなが集まる、子育て支援や多世代交流の場～**

駅前という立地を活かした、みんなが集まる魅力的な『公園』を創りたい。

例えば…

- 小さな子どもからお年寄りまで、みんなが利用しやすい公園
- だれもが自由に過ごせる広々としたスペース
- さまざまなイベントや催し物に活用できる場所
- 気軽に立ち寄れる休憩所、トイレなどの施設
- 子ども達が安心して遊べるスペース、遊具施設
- ヘルスロード計画と連携した健康づくりの場



● **インクルーシブパークの整備 ～誰もが一緒に楽しく過ごせる場～**

- インクルーシブパークとは「だれもが遊びやすい」ことを目指した『公園』です。
- 「ダイバーシティ(誰もが共生できる社会)」の実現に向け、一人ひとりがそれぞれの能力や個性を活かし、自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりが求められています。
- そのような中で、身体が丈夫でなかったり、人との関わりが苦手だったり、さまざまな理由で公園に行きづらい子ども達があります。誰もが楽しく、気兼ねなく過ごせる遊びの環境が、これからの公園に求められています。



**安全性/介助のしやすさ★**  
足を踏み外さない工夫や、脱輪しない配慮、万が一の落下に備えた衝撃吸収材など、さまざまな対策が必要です。

**アクセシブル★**  
車いすからの移乗や歩行器や杖、つかまって移動できるなど、アクセシビリティを検討します。

**難しさが選べる**  
それぞれのニーズに応じ、能力に応じた遊び方が選択できます。難易度の選択肢があることが必要です。

**クールダウンスポット**  
徐々に環境に慣れるため、心を落ち着かせる空間です。介助者も安心して子どもと過ごせます。

**あそびのつながり★★**  
これまで関わる機会をの無かった子どもと遊びを共有することで、多様性を先入観なく体験し学んでいきます。

**ゆれる・まわる・すべる★★**  
揺れる感覚は、情緒を安定させ、やる気をだしたり、ストレスを解消したり、体の使い方を自然に習得します。

**みる・きく・うごかす**  
色や模様を見る、音の質を感じる、手先を使って操作するなど、五感にひびく感覚器への刺激を促します。

**あるく・わたる・とぶ**  
自分の足で歩く・這って進む、車いすや歩行器であるく・渡る・またぐ等、筋肉を使う運動要素を組み合わせ体の重心の取り方を習得していきます。

**はう・ねそべる・ふれる**  
体で感じる、皮膚で感じる、深部感覚を刺激し、触ることはシナプスの連結を活性化することにも繋がります。

**エンドレスあそび**  
自閉傾向の子どもにとって、エンドレスな動きを経験することは、落ち着きのもとになる魅力的な遊びです。



● **防災機能の充実 ～いざという時、さまざまな役割を担う場～**

- 地震や豪雨など、近年、毎年のように各地で大きな災害が発生しています。
- 昨今、「コミュニティ」という視点からの災害対策が注目されており、「共助」の力を高めることは、地域の安心・安全の基盤づくりにつながります。
- 防災機能の充実を図り、災害時に機能するだけでなく、防災に対する啓発を促し、防災訓練や防災イベントを通じて「共助」の力を養うことに役立っています。



かまどベンチ



平常時



トイレ設置時

マンホールトイレ



パーゴラテント